

2018 年 5 月 31 日発行
財団総括委員長 藤居 彰一

1. 第 1 回ロータリー財団委員会開催の件



5 月 19 日（土）筑西ダイヤモンドホールに於いて、高橋 GE, 中村 GN の出席も頂いて、6 月 16 日に開催予定の新旧財団委員引き継ぎ及び 7 月 14 日に開催予定の財団研究会の準備の為に打ち合わせを行いました。

- 1) 高橋 GE からは、次年度も引き続き各種寄付の確実な確保と既に進行して居る地区補助金の成果に対する要望。
- 2) 中村 GN からは、中村年度の地区補助金に対するガイドラインの策定準備をして頂く為の支援の要請があり、過去の事例を参考に、対応して行くことにしました。
- 3) 引き継ぎ及び次年度に向けての意見交換では、従来地区補助金の事務処理を、ガバナー事務所と財団委員会地区補助金担当が、担っていましたが、本来各クラブで、処理すべき事項が多い事が分かり、地区補助金担当委員から、処理担当部署が明確に示されたマニュアルを作成し、次年度の財団研究会にて説明する事にしました。
- 4) 「出前卓話」についてもその効果について意見交換しました。保延年度では 30 クラブから要請を受け、上記状況も踏まえ、卓話内容を更にブラッシュアップし、継続する事にしました。
- 5) 地区補助金は計画年度と実施年度にまたがる事から、申請案件の主な担当者が誰なのか、分からなくなるケースがあるとの事で、申請書の記載事項などを見直して行く事にしました。

2. 冠名基金の活用について

此の度、国際ロータリー日本事務局の財団室から 2820 地区で題記基金の活用が出来ることが分かりました。本冠名基金は、1994 年 12 月 31 日に、Yoshizo Arai 氏によって設立されました。冠名を、Yoshizo & Kimiko Arai Foundation Scholarship

と言ひ、重点分野にこだわらない奨学金として、活用させて頂けるものです。グローバル補助金が WF より同額を配分されることに対し、全額を本基金で賄って頂ける事。適応範囲が大きく拡大されます、有効に活用させて頂く所存です。

3. 補助金の動向

地区補助金は、保延年度分の報告書の取り纏め段階に入って居り、高橋年度分は 52 クラブから活用の意思表示を頂いて居り、申請書の作成に向けて、事務手続を開始しました。

グローバル補助金の動向は下記の通りです。

番号	GG No.	内容	担当
①	GG1862960	医薬品・他	水戸南 RC
②	GG1873598	奨学金	つくば学園
③	GG1865984	透析器	石岡 RC
④	GG1865732	救急医薬品	石岡 RC
⑤	GG1744998	点字教育機材	土浦南 RC
⑥	GG1635357	識字率向上	水戸東 RC

- ①は、支払い完了 ②は、財団承認完了
 ③は、送金完了 ④は、送金完了
 ⑤は、プロジェクト完了（クローズ）
 ⑥は、プロジェクト完（クローズ）

4. 野生株によるポリオ症例数

国	2018-1/1~ 5/22	2017	2016
パキスタン	1	8	20
アフガニスタン	7	14	13
ナイジェリア	0	0	4
赤道ギニア	0	0	0
合計	8	22	37

ロータリーとポリオ

世界からポリオを撲滅する取り組みは、1985 年、世界に先立って国際ロータリーが「ポリオプラス」を立ち上げたときに始まりました。そして今日までロータリー活動の最優先事項となっております。

「ポリオプラスは、国際ロータリーの特別プログラムであり、撲滅の認定が達成されるまでは、ほかのすべてのプログラムに対して優先される」

（出典：ロータリー章典 - 40.010）